

---

## 第9回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブルを開催しました

---

第9回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブル（以下「ラウンドテーブル」と呼ぶ）が平成29年12月14日（木曜日）午後7時から此花区民ホール第1会議室にて開催されました。

このラウンドテーブルは、生活の中で「してみたいこと」をテーマに自由にアイデアや意見を出し合う場です。年齢や性別、肩書は一切関係なしに、此花をよりよくするために何か話そう。何か語ろう。という構想で行っています。



毎月第2木曜日に此花区民ホールにて開催され、今回は8名の方にお集まりいただきました。

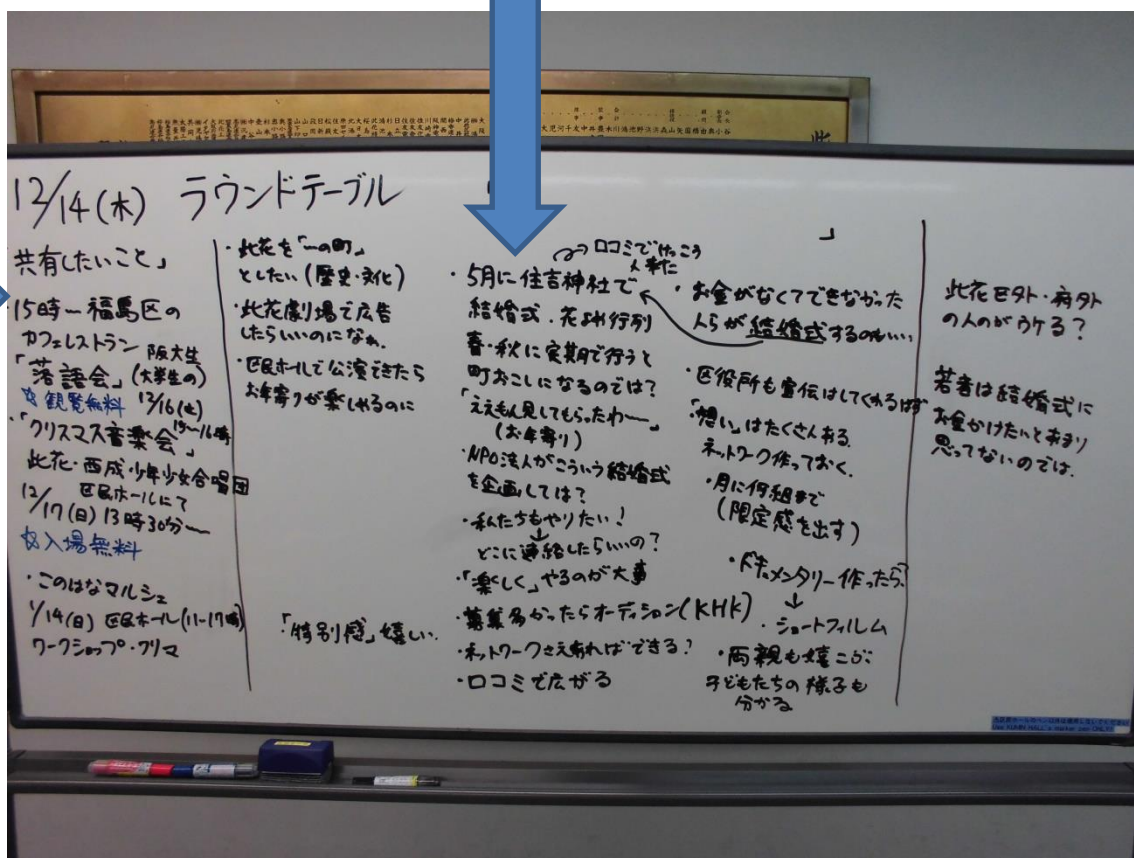
ラウンドテーブル終了後には毎回、参加者同士の情報交換や連絡先交換が行われます。ラウンドテーブルは月1回の開催ですが、知り合ったメンバー同士が別途集まり、交流しているケースもあります。毎回参加できなくても結構ですので、ご興味がある方はぜひ一度ご参加いただきたいと思います。

次回のラウンドテーブルは平成30年1月11日（木曜日）午後7時から此花区民ホール第1会議室にて開催されますので、皆さんふるってご参加ください！

今回のラウンドテーブルの内容は次の通りです。

○初めて参加された方がいらっしやっただので、最初に参加者の自己紹介を行いました。

②



## ① 【共有したいこと】

Aさん・・・12月16日(土)15時～16時、福島区にあるレンタルスペース&カフェダイニング エスラスにて大阪大学落語研究部の1回生による落語会が開催される。観覧無料。

Bさん・・・12月17日(日)13時30分～、此花区民ホールのホールにてクリスマス音楽会が開催される。此花と西成の少年少女合唱団による音楽発表会で、入場無料。毎年此花と西成の会場で交互に開催されている、来年は西成で開催。

Cさん・・・Aさんの落語会の話聞いて思ったのだが、最近の若者は落語のような古典芸能に興味があるのだろうか。

Bさん・・・今年区民ホールでプロの方を招いて落語会を行ったが、来場者は年配の方が多かった。お客さんはとても満足されていたようだ。

Aさん・・・福島区は12月16日のイベント以外にも、当日他に3箇所落語イベントを

行こう。福島区は月亭八方さんが住んでいることもあって、多くの若者が落語を聞きに来ている。福島区は落語の町、というイメージが出来上がりつつある、此花といえば〇〇の町！といえるようにできたらいい。

Cさん・・・今回の落語会は学生にとって場数を踏むという意味でいい機会なのでは。

Aさん・・・学生たちはやるからにはお客さんを呼ばなければ、というプレッシャーがある。Cさんが仰るように観客数ではなく場数を踏むことが大事。

Dさん・・・イベントの宣伝という意味では、ウチの商店街に此花劇場があって、そこにちらしとか張ったら効果があると思う。此花区内に止まらず全国からお客さんが見に来ているし、観客もいつも多い。

Eさん・・・最後に区民ホールから、来年1月14日(日)11時～17時、ホールにてこのはなマルシェ(ものづくりフェア)を開催する。地域の方を中心に、ワークショップやフリーマーケットを通じて参加者の技術や知識の向上と参加者間のつながりを作るという趣旨。

Dさん・・・此花はドライフラワーとかやっている人も多いし、そこそこ大きなイベントになるのでは。募集はもう終わっているようだが、ウチも手伝いたかった。

## ② 【住吉神社での神前結婚式について】

Cさん・・・今年の夏前、住吉神社で神前結婚式が行われた。ラウンドテーブルで既に議題に上がっていることだとは思いますが、神社で結婚式をしたいという相談を受け、20年程前に神前結婚式を行った実績があることを知っていたため企画したところ、非常に評判が良く、定期的に行うことで町おこしにつながるのではないかと思った。

Dさん・・・Cさんが仰る点や格安で結婚式を行える点も含めて、今回限りにするのはもったいない。もっと宣伝していくべき。

Aさん・・・区役所が主導で企画を行うのは難しいと思われる。NPO法人や民間が企画していくことになるだろう。

Dさん・・・広報誌に載せる等の宣伝は区役所もしてくれるはず。

Aさん・・・SNS等で神前結婚式の様子を見た人たちが、自分たちもやりたい!となった時に、Cさんの椿庵さんが窓口になり得るのか、宣伝にはなるだろうが負担が大きくなるはず。

Dさん・・・人のネットワークができていれば問題ないだろう。結婚式の時に協力してくれる人がいることが大事で、みんなで連携していく必要がある。義務感があるとしんどいので、気楽に楽しくやろう、難しく考える必要はない。

Aさん・・・式を挙げたい希望者が多かったらオーディションをやるのも面白い。馴れ初めを語ってもらうとか。

Eさん・・・このはな放送局で馴れ初めを語るとか。



Cさん・・・式を挙げたいという希望者を集めることが難しい。

Dさん・・・ホームページに載せるとか店の前に写真を張るとか。

Eさん・・・椿庵さんはSNSとかやっている?

Cさん・・・Facebookはやっていて、管理は娘に任せている。ウチで結婚式の着物を着つけた方の写真等も載せている。

Aさん・・・神前結婚式が格安で行えることから、お金が無くて結婚式を挙げられなかった人たちを助けたい。その様子をドラマ化してYouTube等で配信したい。

- Dさん・・・住吉神社で結婚式を行う旨、事前に回覧で回していたとはいえ、当日多くの人が見に来たことには驚いた。ロコミの力はすごい。だからこそ、商店街や神社に前回の様子を収めた写真等を張っておくとロコミで拡散していき、この企画は盛り上がる。
- Bさん・・・これから年末年始にかけて神社に行く機会も増えることから、写真を神社に張っておくのは有効かもしれない。
- Aさん・・・20年前に初めて住吉神社で結婚した夫婦にインタビューして、当時の写真をお借りしてドキュメンタリーを作りたい。此花で結婚して幸せになりました！みたいな。
- Cさん・・・新郎さんは埼玉の出身で、新婦さんは滋賀の方で、ご両親は子どもの暮らしぶりを花嫁行列を通じて知ることができて喜んでいて。町の案内も兼ねてこういうところで暮らしているんだね、というのが分かる。逆に、此花区外や大阪府外の方の方が興味を持ってくれるのかなと思う。
- Aさん・・・親がバブル世代だと結婚式にお金をかけるべきだという価値観を持っている場合が多いが、今の子どもたちは結婚式にそこまでお金をかけなくても良いと考えている場合が多いと思う。
- Cさん・・・本日の意見を参考に、今後はこういう取り組みを行っていることを知ってもらうところから始めようと思う。

今月は以上です。参加して下さった皆さん、ありがとうございました！